

2019年度 第2回微生物検査・感染症委員会議事録

日 時：2019年10月4日（金） 9：00～10：30

場 所：パシフィコ横浜 会議センター 511号室

参加者：柳原 克紀、渡 智久、平本 卓、静野 健一、河村 佳江、森下 奨太、大前 喜央、
横山 僚、瀬野 誠、江並 美香、田村 眞弓、杉山 雅英、曾家 義博、久保 亮一、
宍戸 迅人（代理出席）、波多 宏幸（アドバイザー）、木村 由美子

欠席者：高橋 聡、豊川 真弘、中村 竜也、佐々木 雅一、村上 忍

1. 微生物検査・感染症委員会内規（案）について

内規（案）の第2条 事務局の設置施設に関して意見が交わされ、「原則、委員長の施設に置く」に決定した。その他、特に異論はなく、学会事務局に提出することとなった。

2. 第51回大会 第2回微生物検査・感染症技術セミナーについて

技術セミナー 10月5日 13：00～14：30（講演）

14：00～16：00（実技）

上記の日程にて開催予定。プログラムに沿って時間配分や役割等を確認した。（別紙参照）

3. 新任および退任委員について

① 2019年度（5月以降）の新たな委員について新任1名、退任1名、申請中1名との報告であった。

<新任>

・関東化学株式会社 久保 亮一

<退任>

・関東化学株式会社 奥田 浩

<申請中>

・極東製薬工業株式会社 波多 宏幸

② 菌種同定などの微生物検査に関する質量分析および感染症診断に関する遺伝子検査についての微生物検査・感染症委員会への移譲に関して、遺伝子・プロテオミクス技術委員会での委員活動終了後に、委員やアドバイザーの変更を行っていくこととなった。

③ 新たな委員として京都大学病院の長尾先生、富山大学医学部附属病院の仁井見先生にお声かけをし、委員になっていただくよう調整を行う。また、企業に関しても今後も検討していくこととなった。

④ 事務局から再確認事項として、「企業の方で担当変更となった場合は速やかに退任届と新任届の提出をお願いします。また、委員は自動化学会の学会員であることが原則であるため、個人での入会をお願いします。」とのことであった。

4. 第52回大会 第3回微生物検査・感染症技術セミナー開催について

テーマ等について各委員より意見をいただいた。

内容としては、

- ・薬剤耐性菌について
- ・微生物検査や感染管理のシステムについて
- ・薬剤感受性検査のセレクトレポートの作成の仕方
- ・TOF-MS や遺伝子検査と従来法との使い分け
- ・ワークライフバランス（人手不足等）を実現するための微生物検査の自動化について
- ・微生物検査の自動化におけるメリット、デメリット、省力化や簡略化について
- ・精度管理（グラム染色、同定、薬剤感受性、遺伝子検査を含む）

などが挙げられた。

また、セミナーの対象者として微生物検査を専門としている技師なのか、否か、管理職向けなのかの質問があった。第3回目となることも考え、微生物検査を専門としている技師を対象にしても良いのではとの意見も聞かれた。

5. その他

- ① 2020年1月より「一般社団法人 日本臨床検査自動化学会」から「一般社団法人日本医療検査科学会」に改称されるとのことであった。
- ② 第34回春季セミナーは、2020年4月5日（日）沖縄にて開催。よって、微生物検査・感染症委員会の会議は、前日の4月4日（土）に開催予定とのことであった。
- ③ 第53回大会の大会長を柳原委員長が務めることが報告された。

以上